

ふわり

令和2年 No.67

F U W A R I

島根県看護協会雲南支部
広報誌

令和2年度
支部総会と
第1回 研修会のお知らせ

皆様のご参加お待ちしております。

第1回研修会 「災害に関すること ～行政の立場から～」

日時：令和2年6月13日 9:30～

会場：雲南市役所 2階会議室(201・202)

講師：杉谷 亮 氏(島根県健康福祉部雲南保健所 医事・難病支援課 課長)

看護協会入会のご案内

看護協会に入会すると、看護職賠償責任制度に加入することができます。

お問い合わせは
島根県看護協会へ

☎ (0852) 25-0330

HP: <http://www.shimane-kango.or.jp> E-mail: simakk@carrot.ocn.ne.jp

10月6日

まちの保健室

10月6日(日)、奥出雲町で開催された芸術文化祭で、雲南保健所の健康長寿しまね運動プロジェクトチームと協同して、まちの保健室コーナーを設けさせていただきました。

まず、血圧測定や体脂肪測定、塩分チェック等を行い、日頃の健康管理の様子を伺ったりした後、運動機能チェックコーナーへ案内し、体力チェックに挑戦していただく流れで活動しました。地域の皆様と健康意識の話題で会話がはずみ、自己で健康管理をしっかりとされている方の声もきかせていただきました。気軽に立ち寄っていただき盛況でした。



10月19日

まちの保健室

10月19日(日)、雲南市立病院で開催された病院祭の健康コーナーと協同して、「まちの保健室」を設けさせていただきました。血圧測定、血管年齢測定、骨密度測定、体組成測定、健康相談、パンフレット・グッズ配布、栄養士による栄養相談を行いました。

約70名と多数の方にお立ち寄り頂き、会場の混雑や順番待ちなどご迷惑をかけてしまうほどでした。まちの保健室にこれまでも参加して下さっている方もおられ、皆様の日頃からの健康意識の高さを感じました。



第2回研修会

11月16日(土) 雲南市三刀屋町の農村環境改善センターで、「災害看護」を主題として、4名の会員の方を講師にお迎えし、体験談や考え方など、それぞれの立場でご講演いただきました。

◎ DMATの活動、役割、隊員になるためには、継続するためには

講師：濱田 亜希子 様 原 めぐみ 様
雲南市立病院 看護師 (DMAT隊員)

◎ 災害支援ナースの登録に向けて

講師：鳥谷 美世枝 様
雲南市立病院 看護師 (災害支援ナース登録者)

◎ 災害支援ナースに求められる能力、リーダーシップとマネジメント

講師：松本 由夏 様
安来市立病院 看護師 (災害支援ナース指導者
養成研修受講者・鳥根県看護協会 災害看護
委員会委員長)



台風災害や地震災害等が
各地で発生している昨今です。

医療従事者としての立場でも、また、被災地の住民の立場でも、支援の実際や必要性を知ることは大切で、この研修会で災害看護の学びを深め、認識を新たにすることができました。

看護協会の災害看護委員会の活動や災害支援ナース登録についても紹介し、また、非常時の備えとして、防災セットの準備例を展示しました。

寄せられた感想からも、会員それぞれの方の立場や状況に応じて、何かの行動のきっかけになる有意義な研修会でした。

DMATの定義から実践的な内容まで学ぶことができ、大変有意義でした。

実際のトリアージの方法について触れて頂いたことで、看護職として災害の現場に立ち会ったときの専門性を発揮できる一番基本的で重要なスキルであると実感しました。

自然災害の時の自分の行動をどうすれば良いか、DMATや災害支援ナースの役割を詳しく知ることができ、大変良い研修でした。

第2回研修会 参加者の声



災害拠点病院、DMATの活躍ぶりを詳しく知ることができました。災害支援ナースの皆様の思いや活動を知り、何よりも災害支援ナースの登録の必要性を強く感じました。

